

## 6. 判定を間違えたときは？（判定の誤り）

アンパイヤーの判定がはっきり間違いであると認められるときは」正審はそのポイントに限り正しく直すことができる。ポイントカウントの間違いはそのゲーム中に、ゲームカウントの間違いはそのマッチ中に直すことができる。

## 7. 間違っってインプレーを止めさせるサインまたはコールをしたら？（プレーの停止）

インプレーで、アンパイヤーが間違っってインプレーを止めさせるサインまたはコールをしたときは、すぐにプレーを止めさせる。そして、正審はサインまたはコールがプレーに差しさわりがあったと判断したら、ノーカウント（レシーブを終わる前はレット）とし、プレーに差しさわりがなかったと判断したら判定を正しく直すこと。

## 8. スコアの間違いはどうすればよいか？

### （スコアの誤り）

- (1) アンパイヤーは、ポイントカウントやゲームカウントがはっきり間違いであるとわかったときは、第1サービスがフォールトになったとき、または次のカウントをコールするとき、「コレクション」と言ってから正しいカウントをコールする。
- (2) インプレーでは、間違いに気付いてもプレーを途中で止めさせず、そのプレーは有効とする。

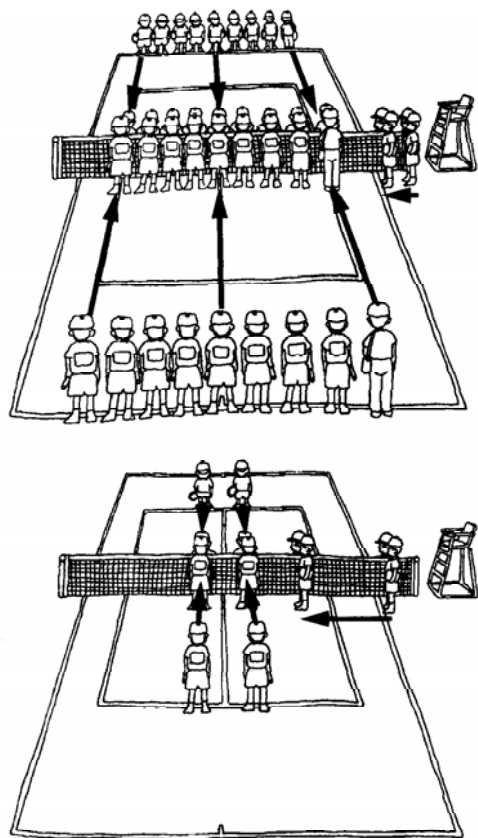
## 9. アンパイヤーはマッチの途中で交替できるか？（交替の禁止）

アンパイヤーはマッチの途中で交替できない。ただし、からだの具合が悪いときとか、次に自分のマッチにプレーヤーとして出なければならないときなど、レフェリーが認めたときは交替してよい。

## 10. マッチの進め方

### (1) マッチ前の挨拶

- ① アンパイヤーは、ネットをはさんで正審と副審が審判台側のサイドラインの外側に立つ。
- ② 両方のプレーヤーが、サービスラインの外側中央に立ち、ネットの方向に向かい合い整列する。
- ③ 正審の合図「集合」というコールで、プレーヤーはネットへ近寄る。アンパイヤーもサービスコート中央まで進む。
- ④ 「挨拶」というコールで、お互いにプレーヤー同士が挨拶を交わして、次にアンパイヤーとも挨拶をする。
- ⑤ 正審はプレーヤーの確認をする。
- ⑥ 団体戦のときは、両方のチーム全員がベースラインの外側に横に一直線になって、ネットに向かって立ち、正審の合図「集合」というコールでネットに近寄る。なお、監督の位置はアンパイヤー側とする。
- ⑦ チーム全体の挨拶後は、それぞれの対戦ごとに個人戦と同じように進める。



チーム同士・各マッチでのあいさつの仕方

(2) トス（サービスかレシーブかまたは、サイドを決める）

- ① プレーヤーの確認が終わった後、ペアの片方のプレーヤーが「ジャンケン」をする。
- ② 負けた方がラケットの公認マーク（こちらが表となる）を相手に見せて、ラケットをコート上に立てて回す。
- ③ ラケットがコート面に倒れて止まる前に、ジ

ャンケンに勝った側が「表」か「裏」かを言う。

- ④ 言いあてた側は、サービスかレシーブかまたは、サイドを選ぶ権利を得る。言いあてなかったときは、ジャンケンで負けた側がその権利を得る。
- ⑤ 相手のプレーヤーは、先取権を得たプレーヤーが選ばなかったものを選ぶ権利を持つ。

(3) マッチ開始前の練習

- ① サービス、レシーブ、サイドが決まったら、プレーヤーはマッチ開始前の練習をし、アンパイヤーはそれぞれ位置につく。練習時間は普通1分以内である。
- ② 試合進行の状況によっては、練習時間が短かめられたり、設けられないこともある。

(4) 「レディ」

正審は「レディ」とコールし、練習を止めさせプレーヤーをマッチ開始の位置につかせる。

(5) マッチは次の要領で進める。

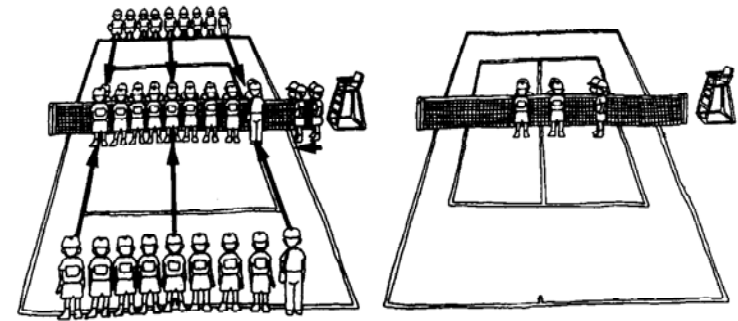
- ① 正審は「サービスサイド〇〇（所属）〇〇・〇〇ペア、レシーブサイド〇〇（所属）〇〇・〇〇ペア、〇ゲームマッチ、プレーボール」とコールしてマッチを開始する。
- ② 正審は1ゲームが終わったら「ゲーム、チェンジサイズ」とコールする。  
副審は奇数ゲームが終わったときやファイナルゲームに入る前は定位置（ネットポストの後方約60cmのところ）で待つ。
- ③ 前のポイントが終わってから45秒位経ったら、正審は「レッツプレー」とコールする。

コールが聞こえない場合もあるので，そのようなときには副審がベンチまで行き「レッツプレー」とコールするよう指示する。

副審がコールしても，次のゲームに入る準備をしなければイエローカード（警告）を出す。

- ④ 正審は「ゲームカウント〇ー〇」とコールして第2ゲームを始める。
- ⑤ 正審は第2ゲームが終わったら「ゲーム，チェンジサービス」，「ゲームカウント〇ー〇」とコールして第3ゲームを始める。以後同様に進める。
- ⑥ 正審は両方のペアが2ゲーム（3ゲーム）ずつ取ったときは，「ゲームカウント2オール（3オール），ファイナルゲーム」とコールして始める。
- ⑦ 正審はマッチが終わったら「ゲームセット」とコールして，すぐに審判台を降り，マッチ前（トスの位置）の挨拶をした位置に立つ。（最後のポイントを記入する時間的な余裕がないときは，挨拶を済ませてから採点票に記入する。）なお，プレイヤーはマッチ前にトスをしたネット中央に集合する。
- ⑧ 副審はマッチに使用したボールを回収し，マッチ前（トスの位置）の挨拶をした位置に立つ。
- ⑨ 正審が「〇対〇で〇〇ペアの勝ち」と勝敗を言った後，プレイヤー同士，そしてプレイヤーとアンパイヤーが挨拶をして解散する。この後は，質問・提訴は出来ない。

- ⑩ 団体戦のときは，試合前の挨拶と同じように，両方のチーム全員がベースラインの外側に横に列になって，ネットに向かって立ち，正審の合図「集合」というコールでネットに近寄り，正審が「〇対〇で〇〇チームの勝ち」と試合の勝敗を言った後，チーム同士，そして両方のチームとアンパイヤーが挨拶をして解散する。



チーム及び各マッチ終了後のあいさつの仕方